

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型支援事業所すてっぷ (児童発達支援)				公表日	R7年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・1日の利用人数に対して部屋を分けて行っている。 ・人数が多い時にケガやヒヤリハットにつながる可能性を感じる事がある。 ・柱など危険個所にはクッションを貼ってケガ防止をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			今後も子どもの状況に合わせて臨機応変に対応していきたいです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	朝の会の際に一日のスケジュールの確認を行っている。	・低い手洗い場など欲しい。 ・トイレや洗面台が混み合うので増やしてほしい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	活動内容や人数次第で部屋を別けて行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		部屋数が多いので場面によって変えられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	朝礼や、その後の振り返りにて同じことが起きないように話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者から要望があった際は上司にも相談を行い改善方向へ繋げられるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	外部からの評価を受ける機会が少ない。	外部との関りは少ないので今後増やしていけるように動いている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	月に一回研修委員会があり内部研修に向けて動いている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		子供に添った目標を作成できている。	今後は少しづつステップアップ出来たら良いと思う。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		現場職員の意見も聞きながら作成することが出来ている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		ミーティングやモニタリングなどで確認ができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		モニタリング時に食事、睡眠、排泄、ADL面の確認が出来ておりアセスメントにも記載している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		本人支援、家族支援、地域支援には本児に合わせた目標内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		一人で考えているのではなく周囲の意見など話しあって決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	マンネリ化しないように工夫している。	しことがない活動にも挑戦して行けたらと思う。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・能力や年齢で分類しての個別や集団活動を行っている。 ・基本的には集団療育を行っているが状況によっては個別での対応を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼や変更時に周知を行っている。	活動前に打ち合わせができています。今後は朝礼の際に活動の分担までしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	保護者様や保育園からの情報の伝達を行っている。	職員間での振り返りの時間を大事にしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・達成している目標に対しては次の課題を設定出来ている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・現場職員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・施設での様子は伝えていますが支援内容の共有まで出来ていない事もある。今後は会議の中でも伝えられるようにしていく。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・切り替えの拒否のタイミングなどで共有を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	あまり関わる事が出来ていませんでした。	今後は機会があればセンターとも連絡をとっていただけらと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時や利用時の様子をSNSで報告したり場合によっては直接電話を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・対応策など聞かれ祭は答ええているが研修は出来ていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際に説明は行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	サインをもらう際に説明を行い、送迎などで会う際には最近の様子も聞くようになっている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		説明を行った後にサインは頂いている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		担当者会議や面談などのタイミングで相談があれば助言などさせていたいただいている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	秋祭りなどの親子参加型イベントを行っている。	今後も保護者様も参加出来るようなイベントを計画して参ります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・ホームページやブログSNSにて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・視覚的に配慮が必要な場合にはスケジュール等の見通しを立てている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		災害を想定した避難訓練などを実施している。	今後も定期的に避難訓練を実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・避難訓練や災害時の物品の準備を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・食物アレルギーの子はいないため、今は取り組んでいない。 ・最初に保護者様にアレルギーの確認は行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・ブレイルームなどにハサミや危ない物が出ていないかの確認は行っている。	今後も通所する前に施設内外の確認を行って参ります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・保護者様の緊急連絡先の確認は出来ている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットがあった場合はミーティング等で話し合う事が出来ている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・ミーティングにて、参加職員からの研修が行われている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3			